

シラバス

教 科	科 目	単位数	学 年	コ ー ス	組
地理歴史	N 日 本 史	3	3	文系GA	1～3

教科書	詳説 日本史探究（山川出版社）	副教材	新詳日本史（浜島書店）
			時代と流れで覚える！日本史用語（文英堂）

科目の目標	<p>1. 我が国の歴史の展開を、地理や世界史と関連付けて学び、歴史的探究心を養う。</p> <p>2. 各時代の特色を総合的に考察するとともに、前後の時代の比較を通してその変遷を考察する。</p> <p>3. 国際社会に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。</p>
-------	---

科目の概要	<p>我が国の歴史の展開について、特に近代社会が成立し発展する過程に重点をおいて考察し、世界史的な視野に立って理解する。政治や経済、国際環境、国民生活や文化の相互の関連や近現代の歴史と現在との結び付きに着目し、現代日本の形成の歴史的過程に対する十分な理解と認識をもつ。</p>
-------	--

観点別評価			
3 観 点	○「知識・技能」	○「思考力・判断力・表現力」	○「主体的に学びに向かう態度」
10 の 力	①「知力・学力」	②「課題対応力」、③「論理的思考力」、 ④「原因分析力」、⑤「傾聴力」、 ⑥「受信・発信力」、⑦「協働力」	⑧「行動力」、⑨「自己管理能力」、 ⑩「自己実現力」
観 点 の 評 価	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評 価 の 方 法	・定期試験	・レポート課題など文章化した成果物やプレゼンテーション ・課題を見つけ、解決する過程での議論の様子	・授業中の活動 ・課題への取り組み方 ・自主的な学習や活動

シラバス

学 習 計 画		
学期	学 習 内 容 (単 元)	単 元 別 学 習 目 標
1 学 期	第12章 近代国家の成立 1. 明治維新と富国強兵 2. 立憲国家の成立 【1学期 中間試験】 5月19日～22日	明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、政治的変革と国家的統一過程を理解する。また、明治初期の対外政策について、欧米への対応とアジアに対する外交政策の違いについて考察する。さらに、政府の強力な中央集権体制への志向のもとで、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。
	第13章 近代国家の展開 1. 日清・日露戦争と国際関係 2. 第一次世界大戦と日本 3. ワシントン体制 【1学期 期末試験】 7月1日～7日	東アジアをめぐる国際環境が変容する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解する。また、第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関係や政党内閣の成立などと関連させて考察する。さらに、民主主義的風潮による社会運動の動向を理解するとともに、普選運動など政党政治の発展から二大政党による政党内閣制成立に至るまでの意義について考察する。
2 学 期	第14章 近代の産業と生活 1. 近代産業の発展 2. 近代文化の発達 3. 市民生活の変容と大衆文化 【2学期 中間試験】 10月14日～17日	資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して理解し、その裏側で起こっていた社会問題(労働問題・公害問題)の発生と政府の対応について考察する。また、労働者や都市中間層の拡大による大衆社会の基盤の成立に着目し、都市化や市民生活の変化を踏まえて、大衆文化の特色について考察する。
	第15章 恐慌と第二次世界大戦 1. 恐慌の時代 2. 軍部の台頭 3. 第二次世界大戦 【2学期 期末試験】 12月1日～5日	戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。また、日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解する。日中戦争・太平洋戦争について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察し、さらに、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前の惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。
3 学 期	特別編成授業 生徒の進路および希望に合わせて受験講座と教養講座を設置する。	受験講座：大学入試問題に対応できる力を身につける。 教養講座：各自の興味・関心に合わせて、さまざまな分野の学習体験を通じて教養を深める。